

熊本地震 障害者支援の中から見えてきたもの

しょうがいしゃしえん なか み
2016年4月におきた熊本地震。当事者の立場から被災地センターを立ち上げ、被災した障害者への支援活動を続けている東俊裕さん。

「障害があり、家の片付けや修理ができない」「仮設住宅に入りたいが、段差だらけでとても暮らせない。」と、公的支援からこぼれ落ちる障害者の、生のニーズに応えるため、まい進されています。

被災直後、その後の支援のお話から、今私達に必要なものは何かを一緒に考えましょう。



講師：東俊裕氏
1953年1月1日熊本県生まれ。生後1歳半で小児麻痺。中央大学法学部卒。2003年から2006年まで国連の障害者権利条約特別委員会の政府代表団顧問。
2009年は12月から障害者権利条約批准に向けた障がい者の制度改革にかかわり、条約批准を機に、2014年3月、内閣府障害制度改革担当室長を辞め、現在は弁護士および熊本学園大学教授に復帰。
熊本地震発生により「被災地障害者センターくまもと」事務局長に就任。

お話し 東俊裕氏

（被災地障害者センターくまもと事務局長）

／弁護士・熊本学園大学教授

日時 3月25日（日）10：00-11：45（受付9：45から）

会場 たましんRISURUホール5F 第6.7会議室

定員 40名（定員になり次第、締切）

参加費 300円（参加者のヘルパー、ガイドは不要）

* 情報保障の必要な方は事前にご相談ください。

申込み、問合せ 自立生活センター・立川 担当：鈴木

TEL：042-525-0879 FAX：042-521-3134

E-mail：cilt@sh.rim.or.jp